

令和6年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」  
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	アスファルトプラントにおけるヒータックシステム
製品種別	エネルギー負荷設備(本体設備)
型番	HS-〇〇
会社名	日工株式会社
本社所在地	兵庫県明石市大久保町江井島1013番地の1
会社WEBページURL	<a href="https://www.nikko-net.co.jp/">https://www.nikko-net.co.jp/</a>
製品紹介ページURL	<a href="https://www.nikko-net.co.jp/plant-engineering/asphalt/">https://www.nikko-net.co.jp/plant-engineering/asphalt/</a>

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	日工株式会社 AP統括営業部 久保苑 TEL: 03-5298-6701 Email: ap-div@nikko-net.co.jp
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	D. 建設業	E. 製造業	
導入対象となる分野・プロセス	舗装材料の製造過程		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	241.6	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	40.2	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	50.3	%	
導入事例における費用対効果（年間）	6.0	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	400,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	2,000,000	円/年	

製品・システムの概要

アスファルトプラントのエネルギー消費割合は、骨材乾燥に使用する燃料が約80%、プラントを稼働させる動力やヒータが約20%である。その燃料に使用している化石燃料を非化石燃料と混焼・専焼を行う事ができるシステムである。なお化石燃料のみの専焼での使用は本システムの対象外となる

化石燃料はA重油、灯油、都市ガス、プロパンガスの実績があり、非化石燃料は再生重油、廃食油、廃グリセリン、木質タール、もみがら粉末燃料、炭化燃料等の実績がある。

対象装置として、

1. 燃料供給ユニット：化石燃料タンク、化石燃料ライン、非化石燃料タンク、非化石燃料ライン
2. 燃焼装置ユニット：バーナ、燃料供給ポンプ
3. ドライヤユニット：Vドライヤユニット、骨材投入装置
4. 集塵ユニット：慣性集塵機、バグフィルタ、煙道、排風機、煙突
5. 制御ユニット：アスファルトプラント自動制御操作盤、動力盤となる。

先進性についての説明

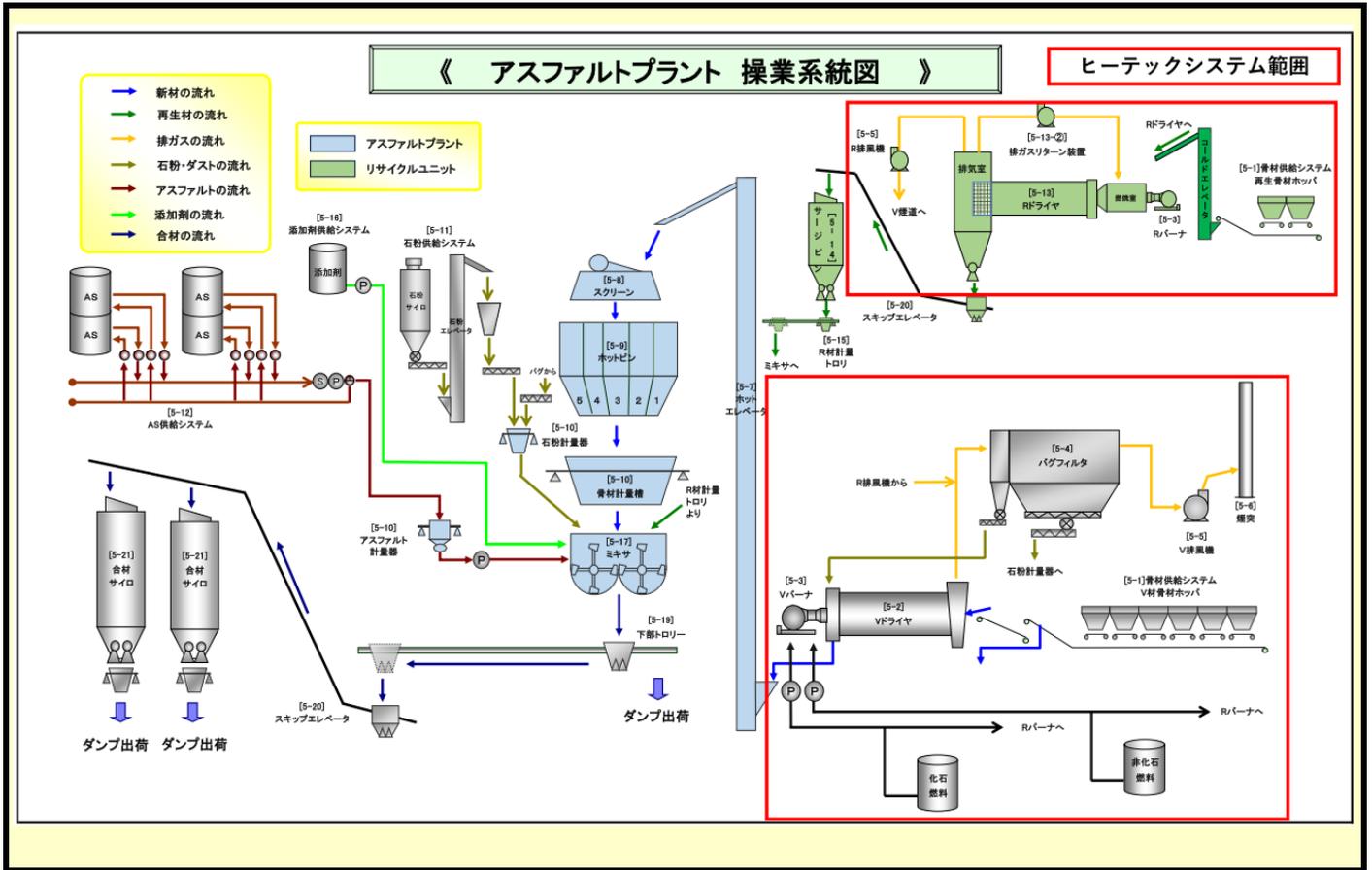
化石燃料を非化石燃料と混焼・専焼を行う事ができるシステムである。従来のバーナより低空気比バーナを採用することで、ドライヤユニット、集塵装置をより高効率なものを採用する事ができる。

非化石燃料の専焼から混焼まで多種のバーナをラインナップ

- ① 化石燃料（液体）＋非化石燃料（液体）混焼
- ② 化石燃料（気体）＋非化石燃料（液体）混焼
- ③ 化石燃料（液体）＋非化石燃料（固体）混焼
- ④ 非化石燃料（液体）専焼

特開2020-186846、特開2011-214734

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	建設業、製造業	対象設備・プロセス	舗装材料である骨材の乾燥加熱炉
<p>混焼バーナ</p>			
<p>ポンプユニット</p>			
<p>燃油タンク (化石燃料)</p>			
<p>燃油タンク (非化石燃料)</p>			